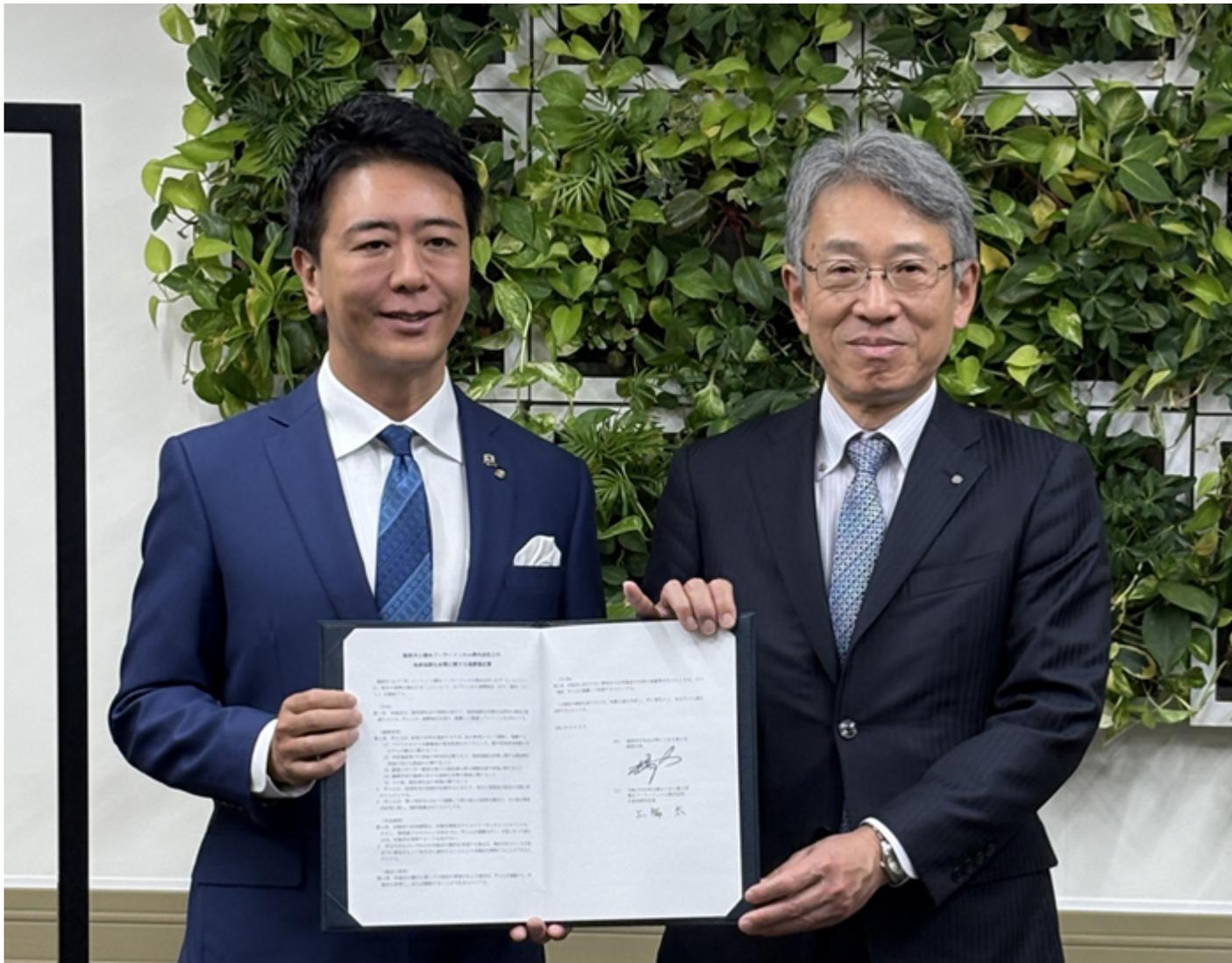


積水化学工業株式会社（代表取締役社長：加藤 敬太、以下「積水化学」）は、フィルム型ペロブスカイト太陽電池の製品設計・製造・販売を担う積水ソーラーフィルム株式会社（代表取締役社長：上脇 太、以下「SSF」）が福岡市と「脱炭素社会の実現に向けた連携協定」（以下「本協定」）を締結しましたので、お知らせいたします。



左：高島福岡市長 右：上脇SSF社長

1. 協定締結の背景

都市部では大規模な再生可能エネルギーの設置が難しいという課題解決に向け、積水化学とSSFは、福岡市と連携し、フィルム型ペロブスカイト太陽電池の実証に取り組んでいます。FGN（Fukuoka Growth Next）屋上での防水材一体型施工、香椎浜小学校体育館屋根への導入（設置面積約200㎡）など、公共施設を実証先とした取り組みを進めてきました。

本協定は、これらの実証の成果を基盤に、福岡市をフィールドとした技術開発および実証実験をさらに進め、脱炭素社会の実現を目指すことを目的としています。

2. 協定の主な内容

本協定に基づき、福岡市とSSFは、以下の取り組みを連携して進めていきます。

- ① ペロブスカイト太陽電池の普及促進をはじめとした、都市型地産地消創エネモデルの確立
- ② 市有施設等での実証や率先的な導入など、地球温暖化対策に関する新技術の実装に向けた取り組み
- ③ 環境エネルギー教育を通じた脱炭素に係る理解促進や啓発

3. 直近の取り組み予定

市内小中学校体育館屋根への設置

（設置場所）高宮中学校、老司小学校、原西小学校の3校

（設置面積および発電容量）合計約265㎡、約25kW

[このページの本文へ移動](#)

4. 今後の展開

積水化学グループは、本協定に基づく実装および実証を進めていきます。市内小中学校体育館屋根への設置や技術開発に向けた実証を通じて、フィルム型ペロブスカイト太陽電池の社会実装を加速させるとともに、持続可能な脱炭素社会の実現に貢献していきます。

(参考)

■フィルム型ペロブスカイト太陽電池に関する積水化学のこれまでのリリース

<https://www.sekisui.co.jp/news/PSC/>

<本件に関するお問い合わせ先>

積水化学工業株式会社

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

E-mail : kouhou@sekisui.com

HOMEニュース2025福岡市との「脱炭素社会の実現に向けた連携協定」の締結について